



御影北だより

令和2年度 7月号

神戸市立御影北小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/mkk-es>



「ピンチをチャンスに！」

学校生活が始まり、ひと月が経ちました。子供たちも日々の生活に慣れ、いろいろな制約がある中ではありますが、元気に過ごしています。

コロナ感染防止のための臨時休校が3か月続きました。昨年度の未履修分と今年度の学習とを年度末までに履修するために、夏季休校日ならびに冬季休校日の短縮と短時間学習（モジュール学習）の導入、3年生以上の火曜日6校時、水曜日の6校時の設定等、時程の変更を行っています。他府県と比べ、夏季休校日が長く、大丈夫かというご意見もありますが、これは、7月後半から8月初めの一年で最も高温多湿で熱中症のリスクの高い時期にあえて授業日を行わないという神戸市の方針です。それを補う意味で、他府県では行っていない短時間学習の時間を多く設定しています。今回の時程の変更により、少し余裕をもって学校生活ができるようになりました。知識獲得型の詰め込み学習に終始しないよう、本来、学校で大切にしている体験的な学びや学び合い、きめ細かい学習指導を今年度もできるよう努力してまいりますので、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

さて、夏休みまで早いものであと3週間となりました。子供たちは、今日までのひと月、本当によく頑張りました。コロナ対応、そして、校舎改築工事という大変制限の多い環境のもと、自分たちで工夫し、楽しく学校生活を送ろうとしていました。6年生は、1年生に寄り添い、給食をはじめ、学校生活のサポートを進んで行いました。数少ない学級遊びの時間を楽しみにしている様子も伝わってきました。御影北小学校の子供たちの順応性の高さや創造力の豊かさを様々な場面を感じた1学期でした。

一生で1回あるかないかの今回の経験をマイナスに捉えるのではなく、自分を成長させてくれる特別な1年と捉えて、これからも頑張ってもらいたいです。だから、「今年の子供たちは、かわいそう。」という気持ちは見せず、教職員も知恵を出し合って、心豊かな学校生活を子供たちが送れるよう前向きに考えてまいります。

校舎改築工事も大詰めをむかえ、北校舎の改修工事も8月初めには完成し、8月5、6日頃に仮設校舎からの引越しを行う予定です。引越し完了後は、仮設校舎の解体作業と、体育倉庫の建設を同時進行で行い、それが完了すれば、運動場の整地に入ります。今しばらく子供たちや地域の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。

校長 長谷川 秀治

【神戸市就学援助について】

神戸市では教材や給食などの費用にお困りのご家庭へ援助を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響などにより収入が減少したご家庭などについては、年度途中からの申請も受け付けていますので、希望される方は神戸市教育委員会事務局学校経営支援課（TEL:078-984-0664）へお問い合わせください。